

たが！思い！

調布市立
上ノ原小学校
5年生
令和8年9月11日

「想像のちがい」を味わう国語の授業

昨年度から上ノ原小学校では、国語科を中心に授業改善に努めています。5年生でも、1学期から子どもたちと「物語文を読むことのおもしろさ」を味わえるように努めてきています。4月当初は、教科書の「想像の根拠となる叙述」に線を引くことにも難しさを感じていた子がいました。しかし、今では叙述に立ち止まり、たくさん線を書き込めるようになってきています。

「どのような点に着目すればよいのか」がわからないと「想像の根拠となる叙述に線を引くこと」はできません。小学校の国語では「登場人物の気持ちや性格、人物像」を読み取る活動が多く設定されています。では、子どもたちは「どのような点」に目を付けていけばよいのでしょうか。保護者の皆様は、以下の文章から「どのような人物」を想像するでしょうか。

上ノ原くんは、いつもパリッとした白いワイシャツを着ている。
今日は、柴崎さんと買い物に行くために、赤いネクタイをつけることにした。
「待ち合わせに送れるわけにはいかない」といつもより早く起きた。
朝ごはんも食べた。身支度も整えた。鏡の前に立って、ひとつずつ確認していく。
隣の部屋から天気予報が聞こえてくる。
「えっ、やばい…… うそだ……もう……」
鏡の前に立つ自分を置き去りにして、急いで玄関を出た。
階段を下りているとき 「あっ……」
自分が左右別の靴を履いてきていることに気づいた。

「いつもパリッと白いワイシャツを着ている」という「様子」に着目すれば「清潔感がある」「真面目」といった人物像が想像できるかもしれません。あるいは、「ひとつずつ確認していく」という「行動」に着目すれば「落ち着いている」という気持ちを想像するかもしれません。反対に「冷静を装っているのかも」と捉えて「興奮」「動揺」といった気持ちを想像する方もいるかもしれません。このように、5年生では「叙述に着目すること」と「着目した叙述から想像すること」を楽しみながら、国語を学んでいます。

子どもによって「着目する叙述」も「想像する内容」も異なると思います。だからこそ、「どのような想像をした？」と、みんなで考えを交流することをおもしろがれるように、子どもたちとともに学んでいます。

ぜひ、この「たが！思い！」をもとに、ご家庭でも「想像のちがい」を話題にしてみてください。これからも「ちがう」って「おもしろい」を味わえるように、授業改善に努めていきます。

2学期から
各学年 研究授業が
始まっていきます。
5年生の研究授業
については、後日、
学校だより等で
お伝えします。